

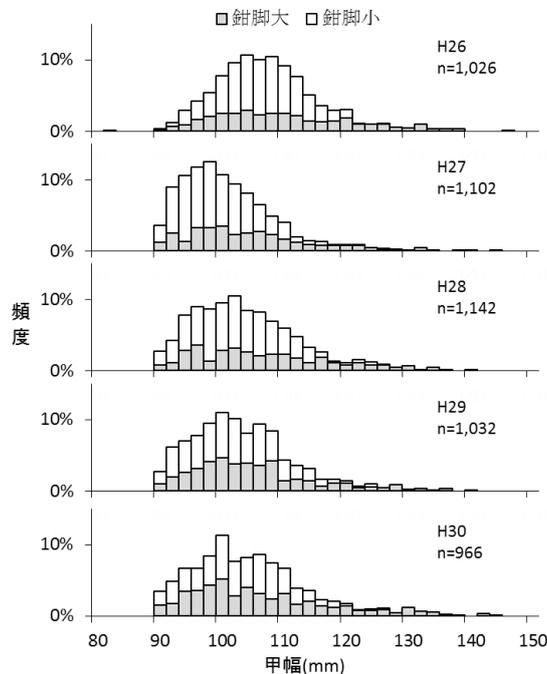
水ガニ(ズワイガニ)の調査

京都府では、底曳網漁業の最重要種であるズワイガニ資源を守るために、平成 20 年から「水ガニ」※の全面禁漁に取り組んでいます。

当センターでは、その効果を調べるために、水ガニの甲羅やハサミの大きさを毎年測定しています。平成 30 年度の調査から、水ガニのうち 44%の鉗脚大個体が来漁期には身入りの良いオスガニとして漁獲可能となることが明らかになりました。

京都府の漁業者が他県に先んじて始めた水ガニ保護の取組は石川県などにも広がっており、今後ズワイガニ資源を共有する日本海全域での効果的な資源管理につながるよう他県にも情報提供を行っていきます。

※水ガニ：9～10 月頃に脱皮した甲羅の柔らかい雄のズワイガニ。ハサミの大きい水ガニは、これ以上脱皮しないので、来漁期には身入りの良いカニとなる。一方、ハサミの小さい水ガニは、翌年も脱皮するため漁獲対象にならない。



水ガニの甲幅測定結果